

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

ご意見やご連絡は、次の email へお願い致します  
( [kadosaki@pop21.odn.ne.jp](mailto:kadosaki@pop21.odn.ne.jp) )

- 会報の 1~126 以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、ご覧下さい。

「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります

Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的 熊の実像について査研究し、それを啓発する事です。

私 (門崎允昭) の**罽に関する基本姿勢**は人的経済的被害を予防しつつ、極力罽は殺すべきでないという立場です。

**理由**： この**大地は総ての生き物の共有物**であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限り互いの存在を容認しようという生物倫理(生物の一員として、他種生物に対して、人が為すべき正しき道に基づく理念による。

## 「熊除けガスプレー」の使用上の注意

現に人に襲い掛かって来て居る熊に、その人が「熊除けガスプレー」を噴射すると、熊から更なる強烈な反撃攻撃をされる事を留意して下さい。

その場合、ガスプレーは被害者にとって、被害を増幅させる更なる凶器と化するのです。

それは次の事例でも明白です

2023年、10月13日16時半頃、阿寒町在住の高橋和寿さん52歳が阿寒町シュンクシタカラ湖で、釣りをし終えての帰路で、襲い来る熊にガスプレーで、応戦したが、熊にひつように攻撃され、片目失明し、さらに肩等を嚙られる等の重傷を受けた。

(了)